

第40回 土岐市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：令和4年6月3日（金）10：00～11：15

場所：土岐市役所・3階大会議室

(参加者)

※敬称略

委員	磯部 友彦	山田 和洋	木村 治史
	野田 昭宏(代理)	片浦 一郎	小倉 保二
	土本 典良	中島 美子	三輪 やよい
	日比野 たつ江	長谷川 満	宮川 高彰
	吉田 佳史(代理)	北澤 しず香	亀山 鉄也
	中尾 学	後藤 正樹	西尾 隆久
	鷺見 直人	正村 彰浩	黒田 隆之
	鈴木 敏宏		
事務局	籠橋 昭範	水野 弘二	久木 裕介

※大加 渉、大橋 麻里子、梶田 陽子、松原 裕一 欠席

■委嘱状交付

- ・土本自治会長へ代表して交付。

■議長選出

- ・磯部副会長を議長に選出

■協議事項

(1) 令和3年度決算の認定について

(事務局)

- ・協議事項の前に「土岐市の公共交通について」事務局より説明。

(事務局)

- ・資料1について説明

歳入については、土岐市からの負担金と受取利息で、合計5,144,278円。

歳出については、協議会2回開催分の委員報酬と費用弁償、土岐市地域公共交通計画策定支援業務委託の契約書作成の際の収入印紙代の収入印紙代、委託料の振込手数料。また、事業費として、公共交通計画策定を支援する為のコンサルへの委託料として、合計5,144,278円。

〈意見・質問〉

なし

- ・承認

(2) 令和4年度事業計画(案)について

(事務局)

- ・資料2について説明。
 - ・今年度の当協議会の開催日数は、3回ないし4回の開催を予定。
 - ・本日がその第1回目。以降、7月末に1回、秋から冬にかけて協議事項があれば1回程度、そして年度末に1回開催を予定。
 - ・参考として、土岐市では、令和3年度に当協議会の協議を得て策定した『土岐市地域公共交通計画（以下、公共交通計画）』に掲げる基本方針を実現するための事業を令和4年度～令和8年度までの5年計画で進める。
-
- ・参考資料「土岐市公共交通計画」について説明。
 - ・基本理念「事業者・地域・行政がともに助け合い、公共交通サービスの維持・改善に努めること」
 - ・公共交通計画の4つの基本方針を説明。資料2の令和4年度事業計画（案）は、基本方針に沿った事業計画となっている。
-
- ・「基本方針1」「事業者と行政とが担う役割を明確化し、効果的で持続可能な公共交通サービスを維持します」
具体的には「施策1-1」「路線バスのモニタリングと路線縮小時の手順取り決め」として、交通事業者から市に対して路線縮小の1年前の4月に相談し、十分な検討期間が設けられるようにする。
「施策1-2」「南北軸の強化」として、土岐市の南北の移動における利便性を向上させるべく、路線の見直しを検討。地域交通の検討とも連動させ、乗継による利便性の向上等の相乗効果を見込む。
「施策1-3」「東鉄駄知乗車券発売所の廃止検討」として、令和4年3月末をもって、東鉄駄知乗車券発売所が廃止された。券売所機能は、駄知町の千古乃岩酒造(株)、(有)加藤鉦油店が取扱い代理店としてご協力いただけたことにより、維持できている。しかしながら、令和4年9月末をもってバスの乗り入れができなくなることから、路線バス、市民バス、駄知町の地域交通である駄知どんぶりバスの代替ルート等を交通事業者と協議し、また駄知地域の交通検討会とも協調実施しながら利便性の確保に努める。
7月末開催の協議会では、具体案を協議する予定。

・「基本方針2」「市民との協働により地域に適した交通手段を確保します」

具体的には「施策2-1」「駄知地域での交通検討会の開催」として、令和元年6月より地域と市が協働で運行している駄知どんぶりバスの運営委員会に、市も参画し、継続的な支援を行う。

「施策2-2」「その他地域での交通のあり方検討支援」として、高齢化が進み公共交通の利用の少ない曾木町での今年度中の交通検討会の開催を目指す。

「施策2-3」「オープンキャンパスにおける通学手段の紹介」として、土岐商業高校、土岐紅陵高校、東濃フロンティア高校に対し、オープンキャンパス時に利用できる通学に資する乗継ダイヤを示したチラシを配布する。

「施策2-4」「バス利用者アンケートの実施による改善活動と改善結果の公表」として、市民バスやのってこの利便性を高めるため、年に1度アンケートを実施し、利便性を改善する。また、アンケート結果をバス車内で掲示し、改善結果を周知する。

・「基本方針3」「シームレス(つなぎ目の無い)化により利便性を向上させ、利用方法を広く周知します」

具体的には「施策3-1」「駅における案内看板設置や待合環境の整備」として、今年度は都市計画課と連携し、ベンチの設置により待合環境の整備を目指す。また、イオンモール土岐の開業に合わせ、案内看板の設置も予定している。

「施策3-2」「民間バスへのGTFS導入検討」として、東濃鉄道へのGTFS導入を検討する。GTFSとは、バス事業者と経路検索等の情報利用者との情報の受渡しのための共通データ様式であり、GTFSを導入することにより、GoogleMaps等での経路検索等が可能となり、利便性の大きな向上につながると考えられる。

「施策3-3」「路線バスと市民バスの共通乗車券の検討」として、共通乗車券による運賃面でのシームレス(つなぎ目の無い)化を図る。また、土岐市以外にも1日乗車券へのコミュニティバスの参画を前向きに検討している東鉄バス管内の市が複数あり、協調実施により広域的な利用促進を図る。

「施策3-4」「市民向け公共交通利用相談会の定期的な実施」として、今年度は2回「公共交通相談会」を開催し、バスやのってこの利用方法、個人の生活パターンに合わせた「マイ時刻表」の作成等に対応する。

「施策3-5」「バスふれあいイベントの開催」として、新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、福祉まつりに参加し、交通事業者と協力しながら、公共交通の利用促進PRに努める。

・「基本方針4」「新たな施設立地を契機として、周辺交通網の充実を図ります」

具体的には「施策4-1」「商業施設と連携した土岐口エリアの総合的な対策」として、現在土岐プレミアム・アウトレット、テラスゲート土岐、イオンモール土岐、東濃鉄道、

市の5者で協議を重ねており、今年度の秋からは土岐市駅からイオンモール土岐まで結ぶ新路線が予定されている。また、施設間の渋滞を緩和するためにバスの利用を促進する施策も検討する。

「施策4-2」「新病院のアクセス対応」として、令和7年4月の新病院の開院に向けて、病院事務組合が中心となり、両市の公共交通協議会や、交通事業者等の関係者を交えての検討の場を設け、さまざまな可能性を考慮した協議を重ねていく必要がある。

・これらの事業の実施予定時期については資料2の下段、土岐市 令和4年度事業計画に記載してあるので、ご覧いただきたい。

〈意見・質問〉

(西尾委員)

・駄知停留所が令和4年10月から利用できなくなるが、南山公園と長者町の間での代替のバス停は検討されているか。

(野田委員)

・現状では代替の停留所候補を探すのが厳しい状況。前後のバス停をご利用いただきたい。

(宮川委員)

・駄知停留所が無くなった場合の乗継等の対策の検討はされているか。また、GTFSの対応状況はどうか。

(事務局)

・乗継については、東駄知のバス停が結節点になっているので、そちらを利用して乗継ができないか検討している。GTFSは市民バスでは導入されているが、東濃鉄道さんの路線バスでは導入されていない。

(野田委員)

・東濃鉄道ではIT担当を置き、恵那市はGTFSの導入を終えた。今月中には東濃鉄道管内は導入予定。

・駄知止まりの路線を延伸することは検討している。7月末の会議にはお示しできるように準備したい。現在、非常に経営が厳しい状態であり、赤字にならないような路線編成が必要になっている。路線バスの運賃は長らく上げていないが、実のところ運輸局から認められている上限運賃より低い金額で維持してきた。路線維持するためには上限運賃の範囲内での値上げもご理解いただきたい。

・承認

以上